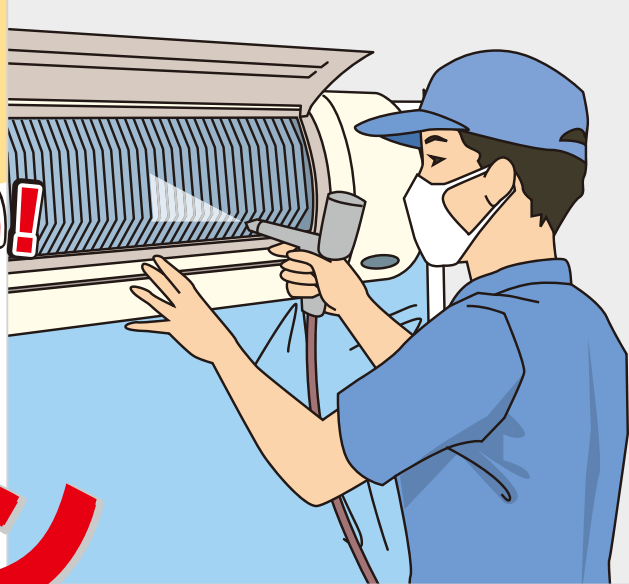


エアコンクリーニングに携わる皆様へ

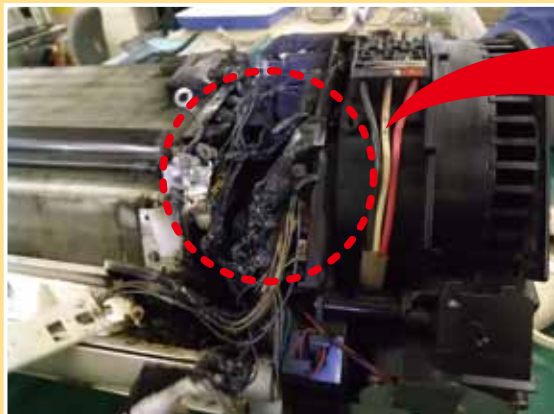


**ご注意ください!**

# 誤った エアコン クリーニングで 発煙・発火事故が 発生しています!



ファンモーター付近が発火したエアコン



強く燃えたファンモーター



写真提供:神戸市消防局

# 危

エアコン内部には電源配線や電源基板等の電装部品があるため、洗浄液などの導電性の液体が電装部品に付着すると、トラッキング現象が生じて異常発熱します。最悪の場合は、発煙・発火事故につながるおそれがあります!!

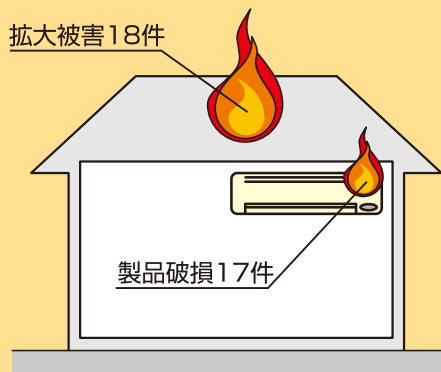
(トラッキング現象とは、蓄積されたホコリが湿気を帯びた場合に漏電し、経時と共に沿面放電の後、炭化部から発火する現象)



経済産業省

nite

# このような事故が起きています！



NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)に寄せられた、平成21年度～平成25年度に発生したエアコン事故の中で「洗剤や結露水等の液体が機器内部に付着してトラッキング現象が発生してショートした」が35件発生しています。

その内、製品本体だけではなく、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼす拡大被害が18件、製品破損が17件発生しています。

## 事故事例（「NITE事故データ」より）

■事故内容：エアコン及び設置場所の周辺を焼損する火災が発生した。

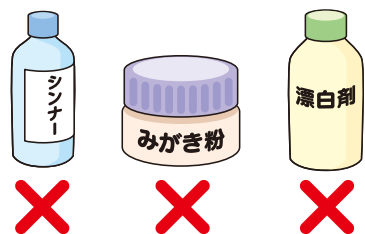
■事故原因：エアコンのファンモーターコネクタ部の電源端子間が焼損していた。ファンモーターには、クリーニング溶剤に含まれる成分が付着していた。エアコンクリーニング時の溶剤がファンモーターコネクタ部に付着したことによりトラッキング現象が発生し、出火したものと推定される。

## ここにご注意!!

エアコン洗浄は、エアコンの機種ごとに適切に洗浄してください。

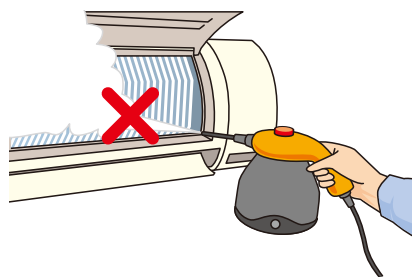
### 現場に入る前に

- 洗剤は、樹脂材（プラスチック）や金属部を侵さない適正なものを使用してください



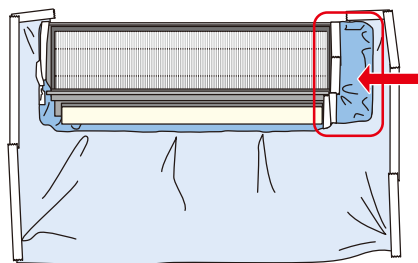
### 作業中は

- 樹脂部品に損傷を与えるような高温高圧スチームでの洗浄をおこなわないでください



### 作業中は

- 電気部品、ファンモーターなどには“絶対に”洗剤がかからないようにしてください



### 作業が終わったら

- 汚れが排水経路に詰まらないようにして十分すすぎをおこなってください

